

作業グループの設置について

作業グループの設置目的

水質改善対策には、大きく流域対策とダム湖内対策があり、それぞれの対策は多岐に渡り関係機関も多いことから、関連する施策で作業グループを設置し、その中で対策の検討を行い、対策の調整及び推進、住民への啓発等を行う。

生活排水対策グループ

農業集落排水，合併浄化槽，公共下水道事業の促進及び進捗状況の把握
浄化槽の適正管理指導，事業場から排水に対する指導等の状況把握及び指導強化
各家庭でできる生活排水対策実践の普及及び啓発

農業排水対策グループ

家畜ふん尿処理施設の建設促進及び進捗状況把握
畜舎管理指導の状況把握及び指導強化
農業者へ適正施肥の指導及び水田における側条施肥田植機利用等による肥効向上の促進
環境保全型農業の推進
畜産事業者，農業者への啓発

ダム湖内及び流域河川対策グループ

ダム管理者及び利水者による既設水質保全施設の効果的運用
魚切ダム及び流域の水質調査の取りまとめ，水質改善状況の把握
汚濁負荷量削減技術及びアオコ発生予測手法等の調査・研究に関わること
河川管理に関わること
流域住民に河川環境に対する関心を持ってもらう為の啓発活動

今後の取り組み

各作業グループで取り組む水質改善対策の整理（ハード・ソフト）。
事業計画（予定）により各対策の進捗管理を行う。

整理した各水質改善対策の事業計画（予定）の作成（短期・長期）。
幹事会へ報告